



製作進行が遅すぎるためマサハチロク強制解体!?!
 いえいえそうじゃなくて、これが最新ハチロクスタイル!
 名づけて……

MA86プリスターフェンダー!!

やる気になれば自作可能なので製作過程をご紹介します

あ まりの進行の遅さに、編集長から「解体処分」の指示が出てしまいました。哀れマサハチロクにはグラインダーが当てられ、ボディから火花が……ま、たしかに火花は出ます。しかし、残念ながら？解体ではありません。

じゃ、ライバルの黒木シビックが順調に仕上がっているこの段階でいったい何をやっているのか？ 答えはオーバーフェンダー化です。

なにせシビック相手だからね、ノーマルフェンダーに収まるサイズのタイヤじゃちよつと細い。その証拠に速いサーキット仕様ハチロクには必ずといっていいほどオーバーフェンダーが付いているでしょ。

しかも、このクルマに合わせて製



▶セッパの整備は、Gと異動していません。そういえばサンタンクも付けていないし、マサのキチンなクマ

作した鍛造ホイールのMA86は、8.5Jのオフセットマイナス10というサイズの設定なので、ハナからノーマルフェンダーじゃ「ムリ」。そこでオーバーフェンダーなのだよ。

で、そのオーバーフェンダーだけでなく、S30や箱スカ風のフェンダーは付けているクルマが多いから、違うのにはしたい！というマサのこだわりが出ました。しかも希望はプリスタータイプ。市販品じゃ見かけないでしょう、このタイプは。

そこで製作することになったんだけど、これが面白い！そこで今回はプリスターフェンダーの作り方を紹介していきます。



▲密らせるのと縦のラインに透き間ができるのでそこはパテなどで埋める。裏には補強のためのスチール板を入れて溶接とめ。



▲プリスターフェンダーの膨らみは鉄の棒を曲げて作る。あまり細いものだと膨らませ切れないし、太いと曲げるのが大変。

Gr.A ENGINE 再生計画

5VALVE4A-G編
by RACING PROJECT BANDO & CARBOXY

製作手順



▶左右対称の位置で膨らませないとカッコ悪いので位置決めは慎重に。片側を決めたあと採寸し、ラインをマスキングテープでマーク。

▼溶接する面の塗装をサンダーではいたあと、上側フェンダーにドリルで穴を開けていく。ここに芯となる鉄棒を入れて溶接する。



8

▲片側を作り終わったらその板を板の上に置いてスプレー塗料を吹くと型紙の出来上り。これで左右対称のアルカ作れる。

▶縦方向の補強剤も溶接でとめる。ここもフェンダー内側のラインに沿って曲げていく必要があるため、板は厚さ2~3mmくらいを使う。



9



5



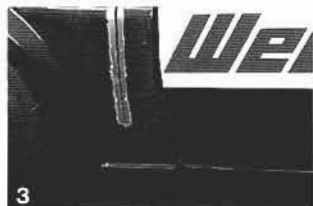
2

▲マスキングテープで作ったラインに沿って切断していく。フェンダーには微妙なアールがついているのでしっかり押さえること。



6

▼溶接作業は難関。ここだけは板金屋さんや鉄工所に持っていくのもいい。自分でやりたいなら溶接機のあるレンタルガレージで。



3

▲一番下まで切らないのは、ノーマルのサイドステップを付けるため。下まで膨らませてしまうと、これか付かなくなってしまうのだ。



10

▲段ボールなどで膨らんだ部分のフタになる板を作り形を決める。真横に渡すんじゃないかと、若干上向きに付けたほうがカッコいい。



7

▼で、肝心の張り出しを作るための棒の作り方。フェンダーをひっくり返し、希望のアールになるよう鉄棒をひたすら曲げていく。



4

▲切断後、膨らませようと引っ張るとけっこう形が自由にならない。指で差している部分のツメに切り込みを入れてやるといい。

MA86プリスターフェンダー



ノーマルフェンダー



ノーマルアーチ部は残っているので、広がったわりにはイメージがあまり変わらない。製作したのはワイ・エス ジャパンという坂東商會のそばにある中古車屋さんの板金部門。だけど、一般からの修理はやってないよ。

スタイル比較

まずは形状。ひと口にプリスターといっても形はいろいろあるが、今回はランチアデルタ風にするに決定。これはカッコ良さももちろんだけど、比較的製作しやすいというメリットもあるのだ。でも、フェンダーを作ると聞くとパテを大盛りするイメージがあるでしょう。だけどこいつはそうじゃない、ノーマルフェンダーに切り込みを入れ下側の面を引っ張る。そしてできた透き間に鉄板を溶接して膨らみを作るという手法だ。

これは70年代のアメ車カスタムで行っていたやり方を参考にしたものだけど、アメリカ産だけに?DIY風味たっぷりですね。

今回は時間の都合でフロントのみの作業になったけど、リヤフェンダーも手順的にはほぼ一緒。

ただし、たいていのクルマはガソリンタンクがリヤにあるし、給油口からタンクにつながるパイプもフェンダーの裏にあるため切断作業は要注意。なにせこの作業はグラインダーを使うので、多量の火花が飛び散る。これが気化したガソリンに引火すると大惨事になるので、リヤフェンダーを作るときはガソリンを抜き、さらに通気の良いところで行うこと。とまあ、細かい作りの部分は作業写真を見てもらうとして、カタチになったフェンダーを見てよ。8.5Jのオフセットマイナス10のホイールが収まるってでしょ。マサも思わず「型を取って市販しようかな」と言っていたくらいだぞ。

どう? このフェンダーが欲しい人は、ぜひ坂東商會に「市販希望」の電話をしましょう? 名前? それはMA86フェンダーでしょ!



取材協力
坂東商會 ☎042-734-9389
ワイ・エス ジャパン ☎042-736-6511